



着任にあたって

所長 田口 寿子

今年4月に神奈川県立精神医療センター所長に就任いたしました田口寿子と申します。

精神科救急、依存症医療、思春期医療、司法精神医療という、民間の医療機関が担うことが困難な医療に積極的に取り組み、自治体立病院としての使命を果たしている当センターに魅力を感じたため、その役割をいっそう発展させていきたいと考え、所長職をお引き受けいたしました。

近年、国レベルで医療機関の機能分化を促進する施策が進められています。当センターにも、精神医療のあらゆるニーズに応えることではなく、より高度で専門的な治療を必要とする患者さんに、できるだけ迅速に医療を提供することが求められております。「センター」としての機能をいっそう強化していくため、病床のより効果的な活用、地域の精神科医療機関との役割分担と緊密な連携体制の構築に努め、専門医療を必要とする患者さんたちへの治療と社会復帰の促進を図っていきたいと考えております。特に今年度は、もの忘れ外来の拡充、今年6月に保険適用となるr-TMS（反復性経頭蓋磁気刺激）療法の普及に力を入れていきます。

神奈川県のお客様の皆様、関係機関の皆様にいっそう信頼される精神医療センターになれるよう、職員一同、日々研鑽に励む所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

Contents

● 着任にあたって

● 部署紹介リレー

・ 医局

・ 外来看護科

● 掲示板他



医局

今年度に入り、新医局員(専攻医)が3名入職しましたので、皆様にご挨拶させていただきます。

精神医療センター1年目専攻医の高島早貴と申します。信州大学卒業後、日産厚生会玉川病院で2年間の初期研修を経て、現在精神科医として勤務しております。豊富な症例数と、きめ細やかな指導をしてくださる上級医の先生方に恵まれ、日々充実した研修を行わせていただいております。地域医療に貢献できるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



林伸紀と申します。まだまだ右も左もわからない自分ですが、指導医を含めた多くの医師、看護師、ケースワーカーなど多職種の方々と一丸となって日々患者さんと向き合っています。私が所属する医局には多分野の専門家がすぐそばにいて、多くの先生方が入れ替わり声をかけてくださり他愛のない会話にも新しい発見が散りばめられていて、毎日がとても新鮮で有意義な研修をさせていただいています。毎日のように緊急入院があり忙しいですが、コ・メディカルと共同し患者さんの治療にあたり、そして患者さんと一緒に治療を前進させていく、そんな姿を間近に経験しています。その経験を毎日積み重ね少しでも患者さんの力になればと思います。

この4月より当センターに参りました山崎千佳と申します。これまでは市内の総合病院で心療内科医として勤務しておりました。そこでは心身症や気分障害、不安障害、摂食障害などのほかりエゾン業務等に従事しておりました。こちらでは統合失調症の急性期管理、精神科救急、依存症治療など全く新しく経験していくことばかりかと思いますが、経験豊かな先生方に囲まれて研鑽を積んでいければと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

現在、当センターには常勤医師が計29名おり、多様なニーズにお応えしようと日々取り組んでいます。今後とも宜しくお願い致します。



外来看護科

診療科：精神科一般、医療観察法、依存症ストレスケア、思春期、もの忘れ、セカンドオピニオン、歯科



主な病名：統合失調症、気分障害、神経症性障害等 アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル依存症、認知症

外来機能：診療介助、継続看護、訪問看護、治療プログラム、電話相談、診療材料管理
歯科診療介助

診療体制：月曜～金曜 初診（予約制）、再診（時間予約制）

精神医療が入院医療から地域医療に移行し、通院患者さんが地域でその人らしく過ごすためには、外来での継続的な治療と看護が大切な役割となっています。

患者さんの年齢層も幅広く、患者さんやご家族が安心して通院して頂けるように、気持ちに寄り添い、治療が継続出来るよう支援を行っています。もの忘れ外来は、平成29年11月から開始しています。

初診時は、来院から次回受診の案内まで看護師が個別に対応し、不安なく受診できるようにしています。再来時には、不安や緊張状態にある患者さんには安心して受診できる環境調整を行っています。また、入院時から病棟や他部門と連携を取り、多職種カンファレンスに参加し、退院前日には、病棟訪問を行っています。退院後は地域と連携し、患者個々のニーズに沿った対応を行い、継続して治療が受けられるように心がけています。地域と病院をつなぐ病院の顔として、患者さんに寄り添うところ・あたたかい看護に努めています。



掲 示 板

○研究入院として実施しておりましたr-TMS（反復性経頭蓋磁気刺激）療法が6月より適正使用指針に沿った保険診療ができるようになります。

○第4回 認知症シンポジウム

日 時：令和元年11月9日(土) 13:30～16:30

会 場：湘南台文化センター市民シアター

講演開始までの60分間、相談ブースを設け、ソーシャルワーカー、管理栄養士、看護師、臨床心理士が認知症に関わる日常の困りごと等のご相談に対応いたします。

○かながわ依存症ポータルサイト (<https://kanagawa-izonportal.jp>)

神奈川県のご委託により「かながわ依存症ポータルサイト」を立ち上げ、運営・管理を行うことになりました。

依存症に対応している神奈川県内の医療機関や自助グループ・回復施設などの情報、依存症に関するセミナーやイベント情報等を提供します。

各種メディアに掲載されました

- ・4月4日(木) 日本テレビ news every.
黒澤文貴医長が薬物依存の治療についてインタビューを受けました。
- ・4月5日(金) TBS Nスタ
小林桜児医療局長が薬物依存の治療について電話取材を受けました。
- ・4月10日(水) 朝日新聞朝刊
当センターが依存症治療拠点機関に選定されたこと及びかながわ依存症ポータルサイトの立ち上げについて掲載されました。
- ・5月14日(火) 神奈川新聞朝刊
4月27日(土)に開催した第3回認知症シンポジウムについて掲載されました。

今日の一首

付き添いの
散歩四つ葉の
クローバー
話題の数が
一枚増える



詠み人 はまぐら